

平成30年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	上越地域難聴幼児支援事業
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 准教授・小林 優子
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 別紙1 (担当者職名・氏名) 別紙1
4 事業の趣旨・目的	上越地域(上越市、妙高市、糸魚川市)の難聴幼児の発見から就学までの関連諸機関のネットワークを構築・維持し、教育相談その他の支援事業を継続的に展開することが本事業の目的である。同時に上越市役所健康づくり推進課と連携して「子どものきこえ相談室」を毎月1回、上越教育大学特別支援教育実践研究センターを会場に実施し、上越地域に在住する難聴幼児およびその保護者への教育相談・指導を行う。
5 事業活動報告	平成30年7月11日に第25回、平成31年2月に第26回「上越地域難聴児サポートシステム会議」を開催した。各参加者および会議の内容は別紙2～5を参照。 「子どものきこえ相談室」を毎月1回、計12回実施し、新規の受付、教育相談・指導および補聴器相談などの継続的なフォローを行った。開催日等は別紙6を参照。
6 本事業で得られた成果	「上越地域難聴児サポートシステム会議」では各関連諸機関の間で情報交換がなされ、現状と課題を確認し、その場で解決策が検討され、実施されることになった。主な協議事項として、未就学児のきこえのチェックシートを作成し、幼稚園・保育所などに配布の提案などが挙げられた。また、当該会議の折、地域の難聴幼児に対するサポート窓口として別紙1の関係機関の担当者との連絡網を作成し、連絡が円滑にとれるようにした。「子どものきこえ相談室」に関しては、平成30年度の新規相談件数が4名おり、継続的な指導を行い、学校進学前の言語指導を受ける場を提供することができた。
7 その他 (成果物等の名称)	

市	領域	部署	担当
上越市	母子保健	健康福祉部 健康づくり推進課 健診・相談係	岩野 美穂 小酒井和美
	療育機関	福祉交流プラザ こども発達支援センター	高橋峰子
	学校教育	教育委員会 学校教育課	山田 聡
妙高市	母子保健	健康保険課 健康づくり係	丸山仁美
	療育機関	教育委員会こども教育課	岩崎厚子
		ひばり園	後藤こずえ
		教育委員会こども教育課 特別支援教育指導員	松岡義男
学校教育	教育委員会 こども教育課	大野俊哉	
糸魚川市	母子保健	教育委員会 こども課 親子健康係	水嶋絵巨
	福祉	福祉事務所 障害係	山岸圭子
	療育機関	発達支援センター めだか園	
	学校教育	教育委員会 こども教育課	野上正和

機関名	部署	担当
ふじわら耳鼻科		藤原 満
県立中央病院	耳鼻咽喉科 乳幼児難聴外来	
上越地域振興局	健康福祉環境部 地域保健課 地域保健担当	鈴木麻依
県立長岡聾学校	支援センター部 聴能室	高橋 登
	支援センター部 特別支援教育コーディネータ	田村信江
	幼稚部 乳幼児教育相談	磯部則子
		橋本透江
高田分校 幼稚部	関原真紀	
	久我幸弘	
上越市立大町小学校	難聴通級指導教室	呉竹七恵
		久我かおり
柏崎市立柏崎小学校	難聴通級指導教室	古川千帆美
上越市立直江津小学校	難聴特別支援学級	内田有香
上越市立高志小学校	難聴特別支援学級	内藤眞理子
上越市立稲田小学校	難聴特別支援学級	伊藤真澄
上越教育大学	臨床・健康教育学系 特別支援教育コース	小林優子
上越教育大学	臨床・健康教育学系 特別支援教育コース	坂口嘉菜

第 25 回 上越地域難聴児サポートシステム会議

要 項

日 時 平成 30 年 7 月 11 日 (水) 16:30～18:00
 会 場 上越教育大学特別支援教育実践研究センター 研修室
 開催趣旨 上越地域の難聴乳幼児・児童・生徒とその保護者に対する支援を、医療・福祉・教育
 に関係する諸機関の連携で実現すべく、その支援体制を構築・運営する。

- 次 第
- 1 開会
 - 2 日程説明・参加者自己紹介
 - 3 協議ならびに報告
 - (1) 2017 年の新スク状況について
 - (2) 県立長岡聾学校でのきこえ相談の概要について
 - (3) 県立長岡聾学校高田分校の現状と課題について
 - (4) 上越市立大町小学校難聴通級指導教室の現状について
 - (5) きこえエール新潟活動報告
 - (6) 第 26 回会議の開催日程について
 - 4 閉会

参加者一覧

上越市	健康づくり推進課健診・相談係	保健師長	岩野美穂様
		主任	小酒井和美様
	福祉課	主任	藤井潤子様
	教育委員会学校教育課	指導主事	山田聡様
	市立大町小学校難聴通級指導教室	教諭	久我かおり様
		教諭	呉竹七恵様
	市立高志小学校難聴学級	教諭	内藤真理子様
	市立稲田小学校難聴学級	教諭	伊藤真澄様
	市立直江津小学校難聴学級	教諭	内田有香様
	ふじわら耳鼻科	院長・医師	藤原満様
妙高市	こども教育課早期療育事業ひばり園	主任保育士	後藤こずえ様
	健康保険課健康づくり係	保健師	丸山仁美様
糸魚川市	こども課親子健康係	保健師	水嶋絵巨様
	福祉事務所障害係	次長	山岸圭子様
	教育委員会こども教育課	嘱託指導主事	野上正和様
柏崎市	市立柏崎小学校難聴通級指導教室	教諭	古川千帆美様
新潟県	上越地域振興局健康福祉環境部 地域保健課	保健師	鈴木麻依様
	県立長岡聾学校	教諭	高橋登様
		教諭	磯部則子様
		教諭	田村信江様
		教諭	橋本透江様
	県立長岡聾学校高田分校	教頭	関原真紀様
		教諭	久我幸弘様
	NPO 法人きこえエール新潟	副理事長	前田智子様
	上越教育大学大学院特別支援教育コース	准教授	小林優子様
		助教	坂口嘉菜

連絡先

小林優子 電話 025-521-3674 (研究室)
 E-mail yuuko@juen.ac.jp

第 25 回 上越地域難聴児サポートシステム会議議事録(平成 30 年 7 月 11 日)

司会・記録：小林優子

欠席：なし

時間：16:30-18:00

場所：特別支援教育実践研究センター会議室

(配布資料)

- 資料 No.1 上越地区での新生児聴覚スクリーニング対象児
- 資料 No.2 平成 30 年度「耳やきこえに関する研修会」の開催について
- 資料 No.3 県立長岡聾学校高田分校の乳幼児支援等の現状
- 資料 No.4 大町小学校難聴通級指導教室の指導の現状と今後について

協議

なし

報告

1 2017 年新生児聴覚スクリーニング統計報告 藤原満先生 (ふじわら耳鼻科)

資料 No.1 に基づき説明があり、2017 年度の上越地区の新生児聴覚スクリーニング検査児数が 1,883 名であり、そのうち、再検査 (Refer) 対象児数が全体で 16 名、うち 2 名は両側難聴が確定していることが報告された。

2 平成 30 年度「耳やきこえに関する研修会」の開催について 高橋登先生 田村信江先生 (長岡聾学校)

資料 No.2 に基づき説明があり、相談件数が増加傾向にあるため平成 30 年 7 月 24 日から 8 月 2 日までの期間にきこえ相談会を開催することが報告された。

3 長岡聾学校地高田分校の取り組みについて 関原真紀先生 久我幸弘先生 (長岡聾学校高田分校)

資料 No.3 に基づき説明があり、乳幼児相談に関する報告があった。現在 4 名の児童が在籍しており、本校に進学する可能性がある児について報告があった。また、糸魚川市から支援相談扱いで通っている支援相談の事例など、通学が困難な事例についての報告があった。

4 大町小学校難聴通級指導教室の現状と今後の課題 久我かおり先生 呉竹七恵先生 (大町小学校)

資料 No.4 に基づき説明があり、大町小学校難聴通級指導教室の在籍児童の状況について報告があった。8 月 4 日に大町小学校で親子教室を開催することが報告され、大学の院生にも参加を呼び掛けるよう確認した。

第 26 回会議開催予定：平成 31 年 2 月下旬～3 月上旬の水曜日で日程調整を行う。

第 26 回 上越地域難聴児サポートシステム会議

要 項

日 時 平成 31 年 2 月 13 日 (水) 16:30～18:00
 会 場 上越教育大学特別支援教育実践研究センター 研修室
 開催趣旨 上越地域の難聴乳幼児・児童・生徒とその保護者に対する支援を、医療・福祉・教育
 に関係する諸機関の連携で実現すべく、その支援体制を構築・運営する。

- 次 第
- 1 開会
 - 2 日程説明・参加者自己紹介
 - 3 協議ならびに報告
 - (1) 2018 年の新スク状況について
 - (2) 県立長岡聾学校でのきこえ相談の概要について
 - (3) 県立長岡聾学校高田分校の現状と課題について
 - (4) 上越市立大町小学校難聴通級指導教室の現状について
 - (5) NPO 法人きこえエール新潟活動報告
 - (6) 上越地域の小・中学校に在籍する児童生徒の難聴に関する調査依頼について
 - (7) 第 26 回会議の開催日程について
 - 4 閉会

参加者一覧

上越市	健康づくり推進課健診・相談係 教育委員会学校教育課 市立大町小学校難聴通級指導教室	主任	小酒井和美 様
		指導主事	山田 聡 様
		教諭	久我かおり 様
	市立稲田小学校難聴学級 市立直江津小学校難聴学級 ふじわら耳鼻科	教諭	呉竹七恵 様
		教諭	伊藤真澄 様
		教諭	内田有香 様
妙高市	こども教育課早期療育事業ひばり園 健康保険課健康づくり係	院長・医師	藤原 満 様
		主任保育士	後藤こずえ 様
		保健師	丸山仁美 様
		保健師	古川 歩 様
糸魚川市	こども課親子健康係 福祉事務所障害係 教育委員会こども教育課	保健師	水嶋 絵巨 様
		次長	山岸 圭子 様
		嘱託指導主事	野上 正和 様
柏崎市	市立柏崎小学校難聴通級指導教室	教諭	古川千帆美 様
		保健師	鈴木麻依 様
新潟県	上越地域振興局健康福祉環境部 地域保健課 県立長岡聾学校	教諭	高橋 登 様
		教諭	磯部 則子 様
		教頭	関原真紀 様
		教諭	久我幸弘 様
		副理事長	前田智子 様
	上越教育大学大学院特別支援教育コース	准教授	小林優子 様
		助教	坂口嘉菜 様

連絡先

小林優子 電話 025-521-3674(研究室)
 E-mail yuuko@juen.ac.jp

第 26 回 上越地域難聴児サポートシステム会議議事録(平成 31 年 2 月 13 日)

司会・記録：小林優子

欠席：なし

時間：16:30-18:00

場所：特別支援教育実践研究センター会議室

(配布資料)

- 資料 No.1 長岡聾学校支援部の活動のまとめ
 資料 No.2 県立長岡聾学校高田分校の乳幼児相談・支援相談等の記録
 資料 No.3 大町小学校難聴通級指導教室の指導の現状と今後について
 資料 No.4 きこえエール新潟の活動について
 資料 No.5 小・中学校に在籍する難聴児の教育相談、在籍時の動向に関するアンケート
 資料 No.6 平成 31 年度聞こえ相談案内

協議

なし

報告

- 1 2018 年新生児聴覚スクリーニング統計報告 藤原満先生(ふじわら耳鼻科)**
 口頭で説明があり、2017 年度の上越地区の新生児聴覚スクリーニング検査児数について集計中であり、夏ごろに確定することが報告された。
- 2 平成 30 年度長岡聾学校支援部の活動について 高橋登先生 田村信江先生(長岡聾学校)**
 資料 No.1 に基づき説明があり、本聞こえ相談の新規相談件数が 12 月末現在で 4 名であることが報告された。また、近年片側難聴や聴覚過敏について相談を受けることが多く、知識を深める必要があるとのことだった。
- 3 長岡聾学校地高田分校の取り組みについて 関原真紀先生 久我幸弘先生(長岡聾学校高田分校)**
 資料 No.2 に基づき説明があり、新年度に乳幼児相談から幼稚部に進学する可能性のある児についての報告があった。また支援相談でかかっていた児が幼稚部に入学する旨も報告された。
- 4 大町小学校難聴通級指導教室の現状と今後の課題 久我かおり先生 呉竹七恵先生(大町小学校)**
 資料 No.3 に基づき説明があり、大町小学校難聴通級指導教室の在籍児童の状況について報告があった。4g つより糸魚川市に通級指導教室が立ち上げられる予定であることが報告された。また、中学校を卒業した後、支援から離れてしまう生徒への支援体制について意見交換された。
- 5 NPO 法人きこえエール新潟の活動について 前田智子先生(NPO きこえエール新潟副理事長)**
 資料 No.4 に基づき説明があり、魚沼地域(南魚沼市、十日町市、魚沼市など)での難聴児サポートシステムの構築を目指し、行政・医療・教育機関関係者らと 11 月に意見交換の場を設けたことが報告された。
- 6 小・中学校に在籍する難聴児の教育相談、在籍時の動向に関するアンケート 坂口嘉菜助教(上越教育大学) 前田智子先生(NPO きこえエール新潟副理事長)**
 資料 No.5 に基づき説明があり、上越地域の小中学校に在籍する難聴児の在籍状況、支援体制に関する調査を行う予定であることが報告された。
- 5 平成 31 年度聞こえ相談について 小林優子准教授(上越教育大学)**
 資料 No.6 に基づき、平成 31 年度の聞こえ相談の日程について説明があった。従来の水曜から金曜に行うことにし、上越教育大学の学生も教育相談に参加し臨床実習の一環となるよう勧めていくことが報告された。

第 27 回会議開催予定：平成 31 年 6 月下旬～7 月上旬の水曜日で日程調整を行う。

上越市 「子どものきこえ相談室」のご案内

～お子さんにはお母さん、お父さんの声が聞こえていますか？～

上越市では、専門スタッフがお子さんの耳のきこえに関するご相談に応じる、上越教育大学地域貢献事業「子どものきこえ相談室」を開設しています。必要に応じて、医療機関や専門機関への紹介も行います。

子どもの耳のきこえに関する心配事について、まずはお気軽にご相談ください。

1. 平成30年度日程 毎月1回 水曜日

※新潟県立長岡聾学校 「長岡子どものきこえ相談室」の支援により実施しています。

平成30年4月	5月	6月	7月	8月	9月
18日	16日	13日	11日	22日	12日
10月	11月	12月	平成31年1月	2月	3月
10日	14日	12日	16日	13日	13日

2. 相談時間 ①午前10時30分から、②午後1時30分から (定員：各時間1名ずつ)

予約制です。

実施日の10日前までに直接、お住まいの市の窓口へお申し込みをお願いします。

3. 会場 上越教育大学特別支援教育実践研究センター（上越市山屋敷町1番地）

4. 内容 きこえに関する個別相談、きこえの検査 等

5. スタッフ 新潟県立長岡聾学校「子どものきこえ相談室」より派遣

6. 持ち物等 母子健康手帳

7. 申し込み先

上越市 健康づくり推進課 健診・相談係 TEL025-526-5111
 妙高市 健康保険課内 こんにちはすくすく相談窓口
 （子育て世代包括支援センター） TEL0255-74-0065（直通）
 糸魚川市 こども課 親子健康係 TEL025-552-1511

～お子さんのきこえやことばについて悩んでいませんか？～

こんなことはありませんか？

- 大きな音がしても目を覚まさないようだ。
- 後ろから呼びかけても振り向かないことがある。
- 片方の耳だけで聞きたがる。
- 色々なことに興味を示さない。
- テレビの音を大きくしたがる。

- 話していることが分からないようだ。
- 発音がおかしい。
- 聞き返が多い。
- ことばが出ない。増えない。
- 間違えて覚えている言葉が多い。
- ことばが遅れていて、きこえが心配だ。

- 医療機関での聴力検査で難聴と言われ、子育てに不安を感じる。
- 新生児スクリーニング後の精密検査を受けているが、まだ結果が出ず不安だ。



お子さんの耳が聞こえにくい場合、多くはことばの遅れという形で現れます。

聞こえにくければ、ことばが増えなかったり発音がひずんだりすることは珍しくありません。

しかも、軽い難聴であっても子どもの場合には、ことばの発達に支障が出る人が多いものです。

早く発見してきちんと教育すれば、ことばの問題も最小限に食い止めることができます。

まず、お子さんのきこえについて知りましょう！

- ◇ 音の聞こえ方は一人一人違います。相談室でも0歳から聴力測定ができます。
- ◇ 医療機関と連携しながら相談に応じます。
- ◇ お子さんに合った補聴器を選び、調整をしています。



耳が聞こえにくいを分かったら。。。◆

- ◆ 耳が聞こえにくいと周りの人の話がよく聞こえないので、ことばを理解したり、まねをしたりすることがうまくできません。そのまま放っておくと、ことばの発達が遅れてしまいます。
- ◆ 0,1,2歳はことばを獲得する上で最も大事な時期です。聞こえにくくてもこの時期に適切な教育を受けることで望ましい言語発達が期待されます。
- ◆ 一日も早く教育を始めなければなりません。早ければ早いほど効果があります。